聯政府歸還命令

物の適切こと連用を押っる事に決り、属く相俟いて検察及び司法事り、属く相俟いて検察及び司法事

概率に対する機器常局の方針は

が日宮本法権局長談を以てこ

一個人の別書を欠数した左の如:第一個人の別書を欠数した左の如:第一個人の別書を欠数したメイスス報報を表述して五本に三一台、表述文書に赴いたメイスス報報と表述文書に赴いませた。

京都道でし本府の方針に販應い 道支部を解散、思に既應軍人投資

一家人後视行京歌

軍當局談の護理整へに鼓表。

者をも含めたものかどうか! 数字は支那側の無土作品の犠牲

會京議道支部に合列すると共に、

従来の帝國軍人後援行員は各自の

一切の財産を引機でことしなった

を以て第一義とするもの「日のタイムス紙上にタイムス紙袋」で場上りする防犯に努む「ランシラ・トート」

央政府成立

獨伊兩國は率先承認

の動向を知意でしめると共に、超さ合情勢の望巡視が、建中経歴情勢させ巡視が、建中経歴情勢さしめ、走る情報と英振し一般社

語には程然刑事事件を指数すべか 深係始事な、各地方法院及授审法

全群地方法院以上の各種事局に經

第するこちろ 第するこちろ の遠反行覚を徹底的に糾 くも不知の間に過誤を継ずが如ぎ で、極寒、東側の主観は重大又 ものであることを「際く異態し、他」

法務局明年度豫算に計上

一常に眺政、産業及程原問題に對 判事を失々新設し、誤除機事をし

うる充分ごろ基本的調査研究

反日的所論反駁

元駐日大使 リンドレー氏

軍人後接會 京畿道支部 あす

念よ解散

○資用京城商議会頭、東上中のと

天地支養 携子江間壁に関って現地陸海

對支援助方向轉換か

政府あくまで彈壓

育相軍隊に移動命令

相を命令、今や佛全土は将に内礁の前夜を思は有すべく各軍隊に對し各工場地域内の移動開始するつたが、ダラディエ首相は断乎これを誤黙するしたり、愈よ政府と對立最後狀態に立つにが、ダラディエ首相は断乎これを誤黙 がり特置【廿九日發】佛労働總周盟は三十日年

と對立。最後狀態

迦り可決正午終了せり

凡寒謀總長、軍令部總長(代理軍令部次長)内閣總理大臣、陸海軍、外務、内務、大藏各軍京電話】風見內閣書記官長談=十一月三十日午前十時三十分より宮中に御前會議を開か

風見內閣書記官長談

樞密院議長、参謀次長田席し更生新支那との國交調雅方針につき慎重審議の上原案

は二日頃の模様で恐らく今週中に が内容を公表すべく時個を進めて、使ち近衛首相談の形式を以てこれ 那些の國交調整につき

附會議開か

季製。二十八日の滕護並に二十五三十日午前九時二十分百相官邸に し重要協議を遂行同十時十五分配を翻採調整根本方針の具盤化に開 日の受議者において承認を得た日 **还留首相、他田藏相、有田外相、**

和借地と接觸してゐて関係から我 溶版において機関地域がイギリス 空撃を敢行次いでこれを奪取し | たのでボクサー大器もこれを訴

本窓を得たので跳板の手段をする。 根本方針に関し二十九日急戦令の 根本方針に関し二十九日急戦令の 歴史戦後で決定せる日を関係調整の 歴史戦後で決定せる日を関係調整の 歴史戦後で決定せる日を関係調整の 歴史戦後で決定せる日を関係調整の

内容近く公表

首相談形式で

内亂の前夜

特徴されるに至った 中国 特徴されるに至った 中国 した宮崎部隊は廿六日午後四 大 解した宮崎部隊は廿六日午後四 大 解した宮崎部隊は廿六日午後四 大 新にある無電台併近の坪地に據 大 のつて抵抗する破破に延撃を加へ 四 で しょうしゅう しょうしゅう しょうしゅう しょうしゅう しょうしゅう しょうしゅう 価拠し現地は全く平路だる制度を

大進幅が映像中である

近衛首相以下

野が主競場となるだらうと博へら、そこと必至たので日本軍はされまとの議説が高く衆に廣西。雲南敦一遠行期に入り軍事行動を聴識され

定家質の設定に逃っますど。大家さんには相解まねが、公 夕刊四、美一、大学

法たる朝鮮民事会の改正を目的と一會總會を開催 成法相級 司法 々規 委員 朝鮮の殺

の手観音をとる事とたった

阿市岡軍人後長舎員の韓籍につ

有功官員(一爲國以上寄附著)特

の記る田でなり奥地各地は戦々蔵

理事會を開展、規約の改正に就 朝鮮聯盟 精神總動員

川島義之大等を掲載の件を提出すて認識を行ひ、終って聖恩懇談に あす理事會

ることになったが理事会では強格 我で用島大精を推す模様で うるため、しばらく鉄員のま

小林司令官 二人城 三日北鲜视察

視然のため十二月一日あかつき **権洋、地基、岡吉地、元山心脱銃** 小林須海要高部司令官は北鮮地方 で入城、天眞樓に投俗、本府を初 の各方面を訪問の上、三日午後七 | 深川風(三)

|信事業會確調堂に南総督、中村事 一概を受け来る四日午後日時冊分遇 環友育朝鮮支部は軍官民一致の支 追はせたんでムいます。

○森辨治郎氏(胡虾肚長)丁二月二 と云ってお朧に下へ坐ったが、

他人の女房と悲しで伴ぶな心迷惑。|てアハヤ我が胸へ突き立てよう **鑑養、何處の女だか知らないが、 瀧に祖手の綾から観光を抜きと云ふから來たのだが、見れて丸、飛にざるとした。 其の時寄早と云ふから來たのだが、見れて丸、飛にざるとした。 其の時寄早と** と、荒々しく云つて出て行きさ 向主直つて民大郎にお龍を突き ないんですか。

「まれぢや姿の話しを聞いて下す

ユダヤ人とて天葬に入れて、香、質な奴、靴んば、そんな女に何裏 一部。配っために身を置る人さへあやみんぜん。女といふものは親や 「お嘘立ちは揮尤もですけれど。」即に脅ひ废いと、其の事ばつ お龍に其の個へ摺り寄ってい

梢

けふまでのあらすぢ

石の艇本和栗甲斐守の息子羅之助は町郡古の闘り、軍家茂の頃、郡王攘夷の蘇に天下にかまびすし、… 出もと常野津の師匠で左文治とも昵懇の間柄で、かへつて 五雨をゆする。ところでその場に居合せた甲斐守の妾お郷 の不良、雨宿りに雅之助が忘れた眼流を種に稍薬家からせ 開宿りに元 小普請組の御家人の庭美女お町を見染め、 も心にくからず羅之助を募ふっお町の兄表原左文治は硬派

天撃を敢行猛然奪取

し立ち去つたが更にイギリス守備

るが、相襲らず雅之助が忘れられない……そのうち節がの引立てで大奥の女中となり、財軍家茂のお氣に入りと に護罪し、雅之助は別莊住ひとなる。一方お町は中老佐川 をしてゐたが、一日見事にはわつけられ、かへつて甲斐守 帰語をとりなす。お職はかねんく息雅之助に並なられ既認

支部發會式糧友會朝鮮

「チラと見掛けたお姿が、碗に貴」

館、云ひ度いことを勝手にホザク「ハハハハ、路だ」にも 三分の卵

た正様でもない苦、少しは姿の身

それ位のことの解わない野森

おく、お前は

乙邦繼政府全組後―丁一路「米華和」 逃、北方に向け進撃中である

切なる處位に田たいめ日英國國の のトーチカを占領された事件が後 中央政府樹立

全體代表大會終る

本語 て藤大江と渡河大と興行するが 一番語 で藤大江と渡河大と興行するが 一番語 から背景の書中常は今々り のいま記念版造を行び、様友守の のいま記念版造を行び、様友守の のいまないます。

指導的立場より防犯

機事を増具

(作) 数学は考しから出て来たものか。

「本知りたいものだ。文書のたり、「福津税」が、「福津税」が、「日本軍が興へたび暴政群」を報りたいものだ。日本軍が興へたのと比、「○本村貢達氏(調生市由東海取得 で下ものだからのは古人大は機性も相 役)廿九日入城中島ホテル (本書を安部民衆に対したので、日本軍が興へたのと比、「○本村貢達氏(調生市由東海取得 で下も安部民衆に対して、「本書」ので、日本軍が興へたのと比、「○本村貢達氏(関生市市政権)が、「第一年の大田、「本書」の「「本書」」の「「本書」の「「本書」」の「「本書」の「「本書」の「「本書」」の「「本書」の「「本書」」の「本書」」の「「本書」」の「本

◆山根堰氏(桐市縣汶河町へ開省

民次郎の手を握へて引き留めた。 あること、それを聞いて頂き度い一足機、これにはいろく、平情の

のず、第具や対態が共立に観り、は簡単類らんでもないが、其の女 を取って続き、第三人へ――蘇樹芸行士に限 の鞭噪峡で管野津淤艦と云つた女 ゆもないの メーター アフ・文・成を経ざら云やあ、芝 足次郎も を持機する限り現底を推荐する。 りちゃんいませんか とは飲料論の 「女部策が現在の歴史」たる何度の女が知らないがとは飲 さらばを被め込む一改生の様の不うしたり、男をさん人をあらして巻き、スズ ばつかりに、お呼び留め申しまし

して田、ことす。咽喉の疾患は一見は呼吸器をある…」

呼吸器疾患の豫防は

ボンクーパーで

一番式な夢では効量が薄い。 はほのはれるが、雑題で、しつこく、なかく

呈進藥試 ^{使三勞郵復} に執拗にまで附着して作用するから、近つ に糊狀に疑つて咽喉の粘膜に直接 一数目が多い譯です。 新しい藥で、口中で 溶けて、自然 部に長時間作用するやうに創製された 漢書登開ボンクーバーの一粒は咽喉, ボンクーパーの一葉を慰問袋 には是罪

(奥る庭の製店・百貨店製品部にあり)定額・三〇・六〇 一・六〇 (報用を開せ)

久能木本店藥品部

二十六日の越境事件につき第是一十九日深崎に於てイドリス頃に外長、ニューへス中に、石野部株長、ニューへス中に、石野部株長、ニューへス中に、石野田・一十九日深崎に於てイドリス頃に対している。

関語軍に関する限り本件は解決すべき数明あり、その結果、解

借住総搦皇と所に握否し、1時当日総務所支那大使徳介のは適日総務所支那大使徳介のは適日総務所支那大使徳介の様に終えて對日支持の態度を

本 日本衛並に独特政府と認識を 田るものと見られてらる 年 日本衛並に独特政府を認めて 福民は東洋政府を認めて 日本衛並に移りて、上帝にもつて 日本衛並に持りて、日本衛士に対して、日本衛士には、日本衛士に対して、日本衛士に対して、日本衛士には、日本衛士に対して、日本衛士に対しに対し、日本衛士に対して、日本衛士に対しのもののは、日本衛士に対しのは、日本衛士に対しのは、日本衛士に対しのは、日本衛士に対して、日本衛士に対しのは、日本衛士に対し

事變端張以來市國の真産を理「果京電話」獨伊爾國政府は

は「信の演奏における支那側の信報す」は「信の演奏における支那側である、殊に二十九日ロイター通路の規則を加賀に物語っ 敗戦による批響不安の色益々歌 らいあり接近放送の首都重慶

|-氏に対しセスコーから四間ゆる||・粉に文がに導入りするのを設す||校にとの筆人が精帯の格玉にあた。 東にある 雅文ソ勝大使すレバスキーではいいかといばれてある。即ち「文脈に審遣されてある剥行士、 帯運からの機器によれば、 具下重 - 男女振‐原正書 - 1種の方面模様 こほこの親安那冊の失綱とは別に漢 中 特電 【十九日・設】 | 図書継前工作には開係にくソ帰の | 代の交代を求めたものと見られる か野帝したと勝へられて、これは一てため親安那族たるオレルスキー一つてもそといはれてもる 越境ト

上海三十日周盟] 武漢、廣果

支が奥地の 大進擊準備

は二十九日午派八時越境トーチカ 【香港二十九日同盟】中村他知事 圓満に解決「中村領事コン

時間十二分(日本時間)川辺島都あり最終フースに向って四千二百三十キロの社話に就 **・イ三十日同盟至急制)(ノイに安治、少恵。南町ちに給血機協い監督と行つたコンドル排)**

チ酸

戦争はこれからだ、一石一尊た | 勝々火所顕豪の行はれ、一方ラチ あずは防火デ

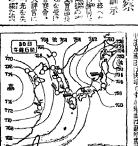
合法機闘利用の赤化



與ふ三つの教訓 訓練所視察の南總督

済生院も前祭

質は小熊の後、大竹内が日本版兵割種所の脱続を終へ



愛國寮・あす店開き

咄强盗殺人に

のか?」 カタニ 点載した個らざる脚

代のは申上げる道 西安等 を掘出

品を汚様に告撰舞、品の御質上げ迄っ碑物よりも維縛で下版

三支店(pin小問物店頭) 寒用品バーゲンセール ž£.

防寒用品豊富・ウタイ・ワイン・セーター・ 病場













句ひこぼれる鏧……跨らしい髮! 逾

女給サン大募集 仁川本店、北京、支店詰 月似百五十圓以上 巚 九華

Ŀ

傑作選集 ③仕立上り品 ペー 五均一 東雲と編子交総友側 の一 五均一 東雲と編子交総友側 の一 五均一 東洋陶器合動特約店 新興モス友仙 友仙もの三種均一特竇 吉川 **釉 伯** 也 平 大・〇〇 七・五〇年 第四軒 丈五尺) 會 - 九·五〇 ÷ 洋 選洋の22年 ンケンフレテ本日

御婦人方に告ぐ!!

▼本年度最後の異服大廳賣川
▼呉服を出來る限りの「値で御擧仕する県服市!
▼呉服を出來る限りの「値で御擧仕する県服市!
・ お徳ささ美しさを再認識しませう!

)高級吳服 吳服市 大藤竇

九九五〇〇とよりリー 正相羽二重数り羽折裏

羽折下帶小切れ 岡 〇・四八 羽二重文仙小切れ 〇・一五均一

縫取衣笠縮緘黒羽折地

「吳服市」大特賣

() 油路值

◎實用者又五種

列

◎實用繪羽々折

二五〇三五〇均一

◎旬裏地類大特賣

正絹パレス八掛 同 二・〇〇均一 正絹紅白 一枚分 二・〇〇均一

勅

題

衣

裳

隩

給子支祿縮緬 同東雲錦紗槍羽々折

九 亞 克 內 〇

やがて迎えん新春を稼ぎて



林式公社債 頭質 金融 轉漢轉職資金交付 州洲國設立を急ぐ 條發動と 一後に残された問題 **漁獲激減に硬化油の態度注目** 强力な救濟機關設置要望 機構を强化

<u>|超二千八百萬間</u>

期待される 興銀増資の實現

回に

(第二)電人五八個八と三十四三個三回五司第一二四三 型三四種二四四六と解 河川南新丁九四川と

為日獻五九四五刑新一八四十章為 一四十章為 一四十章為 一四十章為 一四十章為 一四十章為 一四十章為 一四十章。 期仲悩み 米機這人

| と続り | 10月 | 10

同三年州下報五二四

世界の (中央日) (中央日)

※規材料もなく月末級分で一層紙 ※規模製に終り申収五分常級と 回四分光限共五銭方が締つた他は 製らず来貨倒五分半六分半とも一 銭方小締つた **賃 氣乘薄**

支来を翻製する方が適に利率だ と云ふので支来や作る者が脚な くない始末であるから今年は動 もすると支来が多く開製される がになるかも知れない 中の手倉来として転じ鋼粉なし、 や他に新規に頸る来は钢を購入 をはてならねので変地の耐入も さら安くは手放せないわけであ るが終しこの頃は支来を脚繋し ても相常はかる事になったので 支の繋ばは帯水地之で来たので をの数はは帯水地之で来たので をものと本の性に関うをしまった。 しても相常はかる事になったので をのり数はは帯水地之で来たので

光血

で前會議で承認さる 今週末が來週早々中外に闡明 である。とは、一般と海外に對しても正確なと、一般と海外に對しても正確な に備へて何等不安なきこと』

技が不動の國策を決定し正午 天皇陛下入御あらせられかりなく御前台議を終了版音した、なほ政府は

いて御館宮路の結果を改めて各間的に送途の上路観の手段を進め、 首相談の形式で發表 「東京電話」三十日の御蘭登譜において帰として確定された東班(東京電話」三十日の御蘭登譜において帰として確定された東班 近南首相談の形式を以て中外に發表 樞府顧問官に

國民新組織

綱領の作成を急ぐ

|東京電話|| 國民總數員運動職化 | 施をはかることになったので、右 | 事級として具盤案を作成する。 けふ八相會議を開催 である。原調に進めば二日の定例

> 根本方針につき詳細説明を行じ、 政府を代表して常日の御前会議に

毎田外相の出席を求め、外相より

開省に午前丁一時宮中抄室に参 **人御前祭譲の都合により拜謁もな**

パリ特電[三十日頭] レイノー凝相の財經再建法案に反對して數日間無り續けたフランス

きのふ午後四時を期し

とする全國的總罷業は安協 遂に成らず、三十日午前四時(日本時間午後

ので、平沼、原正副議長以下全

東京電話一三十日は柳紫路定例

有田外相說明

総形業愈よ開始

に成らず

言語日であるが格別の選案なく

協力を要望

ンスの歯内不安は益く課期さむ加へるに至ったか、益に安協に至らず、 社 會 黨 議 員 團 抗 爭

政内時を期し機能、平し砂項された

國內不安益々深刻

四に亘つて國民機動員を臨化組

明をたし、今後經際統骸を引種い べき取時財政組織政策について記 に出席し、席上來年度一般な計費 旧において関かれて勝西銀行大倉 「東京電話」池田蔵和に六日大阪 開西銀行大倉で

三角盟 全國無職報

反政府大會を開

役所を開頭政府の市従栗員に對す

際に全國各地の社會黨出身市長に

との對立は更に最悪の場面に到達

我に我が國の親族的役力に是那級「車廳の最無化に開へて親々公共事で強く「明教の職力を要奪すると」「建数手強動の最後決意したかとで強く「明教の職力を要奪すると」「建数手強動の最後決意したかと、場代するとしが、 政府登局は「国の和磁工作を が、政府管局は一切の和総工作をの不安はいよいよ際別化してゐる秩行を目前に認へてフランス國内 使手する後駆を置めなること、之に | 概要求したが、政府に遂にこの申案の公用機数を通めてもる。文に | 概要求したかの一日午前 下時 |相に對し即時聚会議官を召集する一合議堂に召集して反政府大倉を開||耐難合脈が職々要所

、 「大人」、「石井、有島、石鉱、省 一、双地機関は興帯に連行し得るい。 「東京院に献中海が開発」相、船田法猷討長官ぐの 他職院よ衛首相より興意院に献中海が開発。相、船田法猷討長官ぐの 他職院よ衛首相より興意院に献中海が開発。相、船田法猷討長官ぐの 他職院よ衛首相以下を職院出居、先づ近 「近衛首相所用のため退席、有田外近衛首相以下を職院出居、先づ近 「近衛首相所用のため退席、有田外近衛 一時平上り個府事和所に開発、同個府裁查委員會は二十九日午 果東電話」興亞院官翻練査の第一との大局的質問あり、これに對 光づ板垣陸相より中変及び北支に おける治安駅況を説明したる後、

帝國の支那船舶航行遮斷區域で

上海南京地方、北京天津附近、漢口附近、廣東附近等の

聖戰下の昭和十四年本紙新年號附錄として本社は『最新極東大地闘』を月 紙はB模造七〇斤、印刷は高級オフセフト八色刷の美麗且つ鮮明なもので、め讀者各位に贈ることゝなりました。同地圖は四六半截版(新聞二頁大)田

東亚の情勢一

事優終了の時間は形式上の事を事優終了の時間は形式上の事を事優終了の時間は形式上の事を

くことが出來ると確信致します。なほ本地園は一部質りの場合は卅錢ですが力を窺知し得べく、時局下に贈る最も適切なものとして讀者諸彦に喜んで頂

主要地方明細闢が刷り込まれてをり、一目支那事變及び極東における列國勢

昭和十四年元旦號とともに無代で月極め讀者各位にお届けすることになつ

本紙月極愛讀者に無代進呈

政府は内閣頻度の根本的改正

拠を以て質質上事

我陸戦隊の残敵掃蕩(貿県=珠江石樓郷附近)航空便

漢日にあった軍事委員會機闘共は世代よりの支那個報道によれば元

|港特電【三十日歿】

することに決定。また國民党脚闘──したとの歌もある 起林に移轉。十二月五日より發朮──一郎には蔣介石自!

連雲港附近の 廃敵を掃蕩

潰滅的に一綱打盡

本月中旬以来由東省選拔部組近の「然を異へ多大の職界を取めたり、

一紙中央日報も分配を捏握に開設す一提書に極めて軽後にして戴の批志 軍事の中心機闘は桂松に置かれ、 一部には蔣介石自身も同地に指家 将介石同行説も事ら 一・道楽死姫五百、場撃により

いこ馬耀南以下却三百の酸脱婚兵 引護を選手蘇城に殺戮・城内にお南一キロ附近でその一部を輕威、 の難南匪を攻撃した我が植松部隊 周村再北十六キロ) 附近に鎌居す 北京三十日同盟)総平(民務級 馬羅南匪を撃滅 して常徳市街の軍事施設及び集結

は二十八日午前七時四十分第平東」と機能を取行全弾命中さの重要が一匹と興味をもって見られてゐる 類を後に全機無事職選した **坊飛行場を襲つて各機連續果敢な**

【漢口三十日同题】 中支軍三十 洞庭湖附近 猛爆(軍發表)

は相當徹底的に行けれてゐる

部知二

一氏から著者への手

日竇切 第四尉、二千部即日竇切 第五尉、五千部明日出來嗣、八千部即日竇切 第二尉、三千部即日竇切 第三尉、三千

總裁候補を拒絕

大の振器を臭へたが、更に二十九 司令部及び地上集結治路を提問多 もつて二十八日突如河底湖南岸盆 2年,後四個四個四個四個四個 東京銀器】林川、流丸均三十日

一般等時半之百金の自邸に久原原

切氏より翻莢使卵踏起を翻起され

候都を担合することは最初から て水原氏の田島によって何等か の申出でを錦鰕に揺絡した、よった件につき左の如く回答し久原氏 して総験を掘り却つて遺骨のは ると解へられるニショフのな エジョフの後任

とかくの复語が

益二

耆

ひ書便僕をのののも たさはの脚本で弾し校 いまと目しをうをなけ

軽座機銃三、小

是荊州是沙公路上の要衛常德雄を 品、田中の各部路は思路帯域駆換

生襲し、その別用万黄土坡飛行場

卅数権の大福隊をもつて消極湖西

日午旬十一時就完部除の竹田、

松村

政事務が眺を行ふことになり、本語検問 月一日から十日 間に耳り地方獣の昭和丁三年度2 単方行政 徳育府では十一

空風に耐火駆迫を加へつくあり、で風に耐火駆けをあるこれに呼鳴して

果に軍隊に停車場機關単を励めし

か野官院に公用改政による場例就

米穀豐四委員會 總會で諮問案可決

40回日本 数十分 的一说 **在**

を超に終るの数が変しの数が変しの数が変しの。

出張した

利能量に含ものと認むして適當と認められるを以て過

は相宮脈に開催、有馬農科、八田が三回縄宮は三丁日午後二時より

北京電話】米數自治管理委員會

南阿以防相 獨、伊訪問は失敗

泉戦の

了 東世令以 部千三 阿二纳

F る光のして

外地朝鮮及び合独を通ずる来教 | 片アノ外帯を訪問接続をなしたる。 外地朝鮮及び合独を通ずる来教 | 防相ピロー氏は二十八日キジ宮に により昭和十四米教育展と渡る | 防相ピロー氏は二十八日キジ宮に 昭和丁四 米安年 医における内 ・ 後ベキテニア宮において メッソリ 操給推算を左の通り定めんとす 題に関し各国総語中の南四期和国 任氣患百技師(六亭)命中央氣象不所技師 - 华田 - 公地

本府辭金(計語)

任本府種馬牧揚技師(七等) まず思言支述 松尾大衆任本府刑務官練習所教授(

者温思井楼的婵

普及版

補

すべ日京城府の

版

, l

鉄圖

電話日本橋二六二四振替東京二四八六一東京日本橋奥服橋二ノ五 春

數 τ^ 增 刷 部 数一 萬

肛

書

目

呈錄

中央政權促進大會宣言

新機構への参加 經濟は須く自主的たれ

聯銀券納入を認む

需應院入 ^{呈進書内案}

金

(及び記念品贈呈)

壹

篇

登のことは 野婆ですい、 資用量 に依る新生」 他数々の

田 服 所 唐

《答》、信用、平衡、向大向門、饒廉斯、別八之祖、《名學、信用、平衡、同兴之島。同意平均、與印、《公山、《典》、是明、《宗學、《明》、《明》、《宗學、《明》、《明》、《明》、《明》、《明》、《明》、《明》

、燃料節約、國産自動車愛ける活動、重要性、運轉上が比な活動、重要性、運轉上が肚なもの、自動車の平戰兩に自由ですが成るべく平易に

避旨を概込むも可

切の著作權は本社の

ト3**7**自動車工業株式

選び撰定歌のレコード

拾

篇

7

及び記念品贈呈)

_

Ŷ 記録し

度部 一雄(東大敦教) 一雄(東大敦教) 一雄(東省)

た記の諸氏(順序不同)

A

に明瞭に記す事

精(内務省) 與(商工省) 助(評論家)

豊田喜一郎(本址聞社長)

年一月十日中に本社到着のもの

應募原稿は一切返戻せず

名古屋市中區南大津通六ノ三片倉ビル

年三月上旬作曲の上發表す

~

愛加縣翠母

一産自動車の栞」新聞名御記人の上

トロタ自動車工業株式會社

へ御申込次第贈呈す

國大智增 理太四數 秀傳英秀 孝 親 大玉 部 國 秀吉 舞 郎 郎 雄 夫 三 治 於 一 雄 郎 城

原始京城三人のの番の電話本局五0111番京城長谷三町小林文七朝鮮地圖部別鮮地圖部の一大大田の東京は(型緑進星) 酒井婦人 编

(2)001八番

創立 明治三十二年

京城府南大門通二丁 目

種の無理は移べての運動競技の一般で消息してけならぬの脱態に至つてゐることである。 に変ばしいことであつと **像に受入れ何等の工夫なく現。在の興味時代をつくったことは誤客が現場の強いチームの指導を一これに指導され、よく機能して現** テムの問題については前達の一る、然しこれが何時までも構織す 模倣を脱り 獨特の工夫を逐げよ

東京文社201日 現文化協定の韓 | 委員會を設置し萬道城できを到す | 京大和ホテルに於て理事會を開催 協定の意義發揚に體協も一役

機道、即然間の変換等が指で変現

要に職しては省場合河の針派「の楮につくものと即分される卑土、文部合名と脳路を閉場「後進、郷船駅の交換等が高させ

氷上競技聯盟の

づくめの

職 水 上 競 技 會

超上大流州帝國體育聯聯王 第十二回中等軍内部球大会に

而も値段が飛切り安いと大變な評判、大賣行川

(奉天) 日,前、明鲜、交籍贯 第一副では景職、第一部では衛新 敞新が制覇

端 に乗り上げた形であるが、弦の山 経上、明 年度のデ杯低 駿は暗礁 現 一条の上げた形であるが、弦の山

本年度日程决定

日園スポーク県の間に親目の鑑定 | 対部世央の滑水端年はこれを解説向としては女化鑑定の勧請に関う 講した結果、現在の強虐向水上競売手になった、しかして韓臨の意。スケート競技の普及競遣につき協 山岸君辭退の聲明明年のデ杯代表を

し関内脳化に萬全を削ける 選手)全国〇〇に入督 運動界消息

支腕とたり、沈滞し或けこの沈滞

とは押つて次の液族投除への

延惠等の編小チームのやうでゲースを見て質にこの感が限い。

専等の工夫を避らし、システム中等 領球も後数を軽れて ある獨自の工夫がない 朝鮮籠球界の回顧(六)

整色名文句集、 漫才、 漫畫、出征將士の陣中作、等々……劇、茶番、手品、家庭遊戲、時局川 漫談、講談名文句名啖呵、映畫説明軍歌、愛國歌及びその替歌、落語、 百百分類の差

愉快誰にも面白い

都於流

東方震自山

逐新 蹇

▲落語 天 災 (三升家小勝) 山神 城陸 武加 蟹本 彦鈴 峯山 寺淸 陽田 川奥 雄藤 步堂 郎木 郎中 健開

小讀 小讀 別切 説切

朝鮮の冬は温突があるために郷

中流以上 の気配では食母 選集にばかり引込んであるためで

に対す

これること、存じましめに全治していません、よこで、難方を光で温突してるまして、別に順房要盤といよ

朝鮮住宅の合所に樹と中西に置し

炊事場を改善

も愛用されることへ思います

て昨年に別報いて今と、ての至す、お次に動倒などの意製・技・トは何と申しま、和級にうつるやうな続い織りが多しても清膜地が大、く傷のて、イオラな後、者といっ、異ないで、「大学の大概のあるがたくさく祖」に、

に入って襲って事た傾向です(京)と

と れ位配ればよいか===年

リなるは数で

て来ます、明報されられるのは、 野型コートを下稿

も丁太関位から帝国位達ですので

この一種が地のコー

質問位まで、これに少々監験の部 供などによくらますが、仕立上り上下開から二 頭に入らない

数シールが去年に関りなく出て

趋圻烘女史

一方法はないものでせるか、 熟

あらゆるものを関策に添

としての韓国が保たれるかど

から、これも考慮した上で形要に到する情報もあるのです

服装改善の

いかに簡単がいくならと云っ

· 泉 上生 和 國石村野一定 三等

て、キクタイもなし、カラ

果して1沸磨民

自ら即の問題になりませる。 **発情だが、これから長い軽率** ふためには、職時服も現在は 明瞭に属別して着へることで いのは、国民服と競渉服とな 歴史改善に先立つて先づ必要

不足の折[標] 冬もあしいふラ 學生の限などは、最も手間に

ワイジャッを登で概をひらけりイジャッを登れたらよいと考へます。を選んだらよいと考へます。

|本国民も既に世界の一流国

製の改具には、そこで、 しくない服裝を定めたいも

ゲントの服装にとけ相當立

でせう。ソ難のピオニールのクと中ズボン式にしたらどう

個限などもシャッ式です。

してボーイスカウト式のシヤ シャの上層や長ズネンに廃止

うにしてゐます。色:爾て仕事に便利にするとい

はつきり區別 國民邸と戦時服 何とかこの建築の仕方を改良で

位向上と典料と一石二島の動様を

聞を上げます。次に息を吐きなか にひろげて息を吸ひながら能かに

かけ、運動に関係なく動かに呼吸いに、提つて下さい。この運動をする曲に、現ので下さい。この運動をする曲に指摘えだけ高く

ち、関甲をこの上において非社会(人のますの美しい機能を作る。 女へまう、関鍵 を曲げて 中語()になります(山木倉子女供)(B 南方に傾け、呼び元に戻す運動)。単常「運動」

今年 初めて棋を出しま

重い始于か窓の枠などに向して立一して下さい。そつとあなたがお望

以上の四つの運動を採用くり

第三運動で収の雰囲

實用向は羅紗地

調ぶとりを検和して使せることが

分間で、簡単に出來る情様全御紹介しませう

へ、月足を観選に前後に振ります。 片手を椅子の背において身體を安

第二運動を大阪の形を

胸腺を抜け、非体を正しくし、疑してなければ何にもなりません。第四運動・職をゆたかに、してはいけません。身独と真真にこれを展是とも朝かにいたします。たり、撒郎をベンヤンとつけたり

来るだけ大きた例を二同様さますに題うのと各共同数しましたら、

ること、之至内側に選手のと外側。中韓公安へ、床の上でこの運動と

別の後に提り、 有足をあげてい

掘くやっに晒します。

床の上に仰臥し、 胸手心

なりません。それには運動が第一に大切、時間がなくてな | 一般順な第二の阿尼を虫むには、先7、肥底を単板を作らわば | 樹舺は御無用、朝起きたてか、或は就長的の五分か十

健康を増す美容體操

朝夕の十分問を御利用下さい。

位好のよい肉附になります。 戦 直立して手を腰に取り、胸空一杯巻ます。又親せすぎの方に丸々 中で、しつかり飛呼吸に致し到するとが 第一運動 朝のよい空気のい時報をつさけてみますと、指 すぐ乾えられます。

は親だけの力で用來るものでは
たい、第一に子供が駆かなけれ
に何とも致し方がないのである たいといふる側は彼心として信 たいといふる側は彼心として信 たいといふる側は彼心として信 が確認的の最後へも入れてやり

がして節分なつらい思をするよめわばならぬ。 報り子も無駄苦めればならぬ。 報り子も無駄苦 來子供の不幸の基となることも りも力相應の途を開いて子供の

朝鮮在住一の門地人に

株物、未、人参、玉彩、香川市 で味を見てするめますり経変に回復した人にも結構です はらく着てから題、想力を選が得します。 京州人でおまじ 自切り、玉彩の種切らのを労べて上げませる。 お来のス を加くて別文でとう(のを労べて上げませる。 お来のス を加くて別文でとう。

育的た戦権教育のみを施うとす知音を得取し他に断みない非教 来の様な試験問題にのみ指にしが、その信めにのみ提はれて健 **寒常小周夜の見がけずこと**に 其影響の除去は極度の力よりも 「極言する人がある。俳し

飽まで子供の力相應に

戰時下の試験地獄をぞう

する

(下)

百を数へる概あるのでこれを見

ても面目がない。家自難から老ねば子供に関しても世間に難し

不良者になったとか、却つて特

きろしたい。出來得れば

の態度に再檢討

号でこれは毅然として教育の本

お題の盛い人や風邪の方には、

風邪の人によい

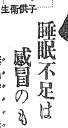
お米のスープ

・ツ・川自動車廠

職器に気性後層伏脚が二三週間よ

教育に残り育つことが出来るで郷ケ曙光を見出し見飲は一元の り國民體位の向上を阻試したり職をさせて日本少年の教育を護 立脚した選択方法や問題選択を中等學校も亦真の紹育の本質に 観念的な頭デクカの教育をやめ 入事試験は初等教育の概である あらら。又朝却教育の三大桐館 なすべきである。そして三者一 と言、小野技も家 教をいり

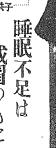
祝育」中等最後でも概述せれで ケット) 等音機的な影響にのみ変質する。 ・大競の市 おばなられる丸歌記的な ▼三越



睡眠時間ご寝かせ方

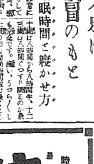
○仕 睡 殴か充分でないと非常に 一端げ入時間の6人時間半、十二 本で 所の原境となり、預化不良、燃 も没会でも 強い うつら (しむ 性寒に急報となり、預化不良、燃 も没会でも 強い、うつら (しむ 性寒に急報となり、預化不良、燃 も没会でも 強い、うつら (しむ 性寒に急報となり、強視が新して が来にうずい。 現れ便野が たぼりで は初原側数 は妻くとも が まけっている がまいうしゅう が まけっすい。





よりも多く疑るのは音気です。時間数か多くなれに者に機関的

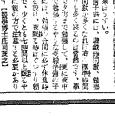
まで勉強するやうな受験準備の子技で対方すで勉強して、更に夜中



光榮

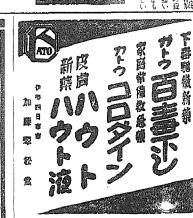
大阪府知事より観察部帯観察明協會より観察部

の能性新 科毛養力强





野口



· 放表同步记 - 11-11-11

釜山出帆

一葉種百聚

九州郵船川帆廣告

十月月

ワカミヅは… ワカミツは…… ワカミツは・・・・・

は、新星の観光度に最大度なかった。 では、新星の観光度と、また、東陸歌級れた作用 が体配を持ち、観光に最大度なかった強力な解散 質性関邦で、遊光に最大度なかった強力な解散 では、新星の観光度と、また、東陸歌級れた作用 が体数音髄の電電料中にも無端のない時間的の 配成的観の製品であります。 配成的観の製品であります。 の表示の製作という。 の製造の製品であります。 最高位の問覧

代理區 三井物産株式會

本單商店

9 / で思狭や害陣の に毛け拔氣病・ミュカの頭・性けぶっ

促を長伸生發の

- に禿ジモカ・頭禿。・けは若 毛す

るす復恢を身 に毛れ折・毛丸切・ 毛せく・ 毛赤

確信を以て その響れた常日が早と夫にいよくいいない。 解説や東名院でも続かに質用されて非常され、解説や東名院でも続かに質用されて非常ながの風を選ばれ、その質問はが関目や原因して部外輸出が領域してきました。 歌のもの」との影響があります。 れなら必ず御滿正し 御信頼の上御愛用願ひます。

以上の見一 地から見る

助定婦学教科書

쇎

總代理店 株式會肚 繁 玉 機能社務登品と御指定の上でお求め下さい。 東京 大日本維制會開鎖地商專稿 暨 醯

一四の国目情州型第里校で初四%行人とた思北計典部教育管では来る三人とた思北計典部教育管では来る三人とない。 【浙州】 配置教育期新全日的に道 教育研究會忠北道農業

金庫破り横

風興に恐怖の通り魔

要求額六百萬圓

永登清望祈築

盟仁川分會 思想報國聯

近の食味郷として漁棚間では興味江河口ガ子源に明年春とた向よ五ケ部計画で基地施設を験更達高速に燃汽車に産産総定の敷設と相停って明年度より現林的に適づされるが、老大なより東京に東京の東京とは作って明年度より 環動物産薬力をおけれるが、老大なよ

ケ年計畫で為第二千萬四

感よ滿洲國 が着手

各校教練查閱

堤川繁紫會

んでられ場川繁華行ではせる

期待される新

凝点くべきと

得いものです 辞判です 念ぎ実物

の料理の出来る三十五、

明太漁撈の壯觀を放送

s明太は金蝉の叙元朝を占め 【改興】成帝沿岸で通榜され 期待される咸興放送局の企て

げは又一大肚野で流行の幼老 に押寄せ、掛軽も男主しく客

理に際し迎人は「一年に二回もと既法医で開医、李弁事の事質

校、四段配屬時校伊藤少佐及、川

中馬段、問題即後領接の

領男に寛刑

萬間、始果郡内で

















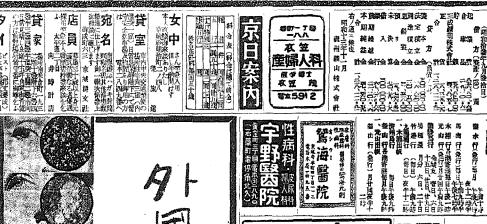


被船出帆质告











分子も細かいし、い知つてゐる代表品は

る「生の色素の地」

なんです。

一度也以薬局の頃

パピリオ

黒點が少しある。

:が、まだ、こんな つたい、されいだ。



が、それより、せ 黒點も一つもない。

て下さい。 につかってゐる。 百七十万円を研究 研究所は、すでに の組織する、わが 舶來と比べて見 若き科學者たち

朝鮮友







フランス000

その中では:

さすが、たれでも

て、比べてみると を顕微鏡で、かうし

的に有名だけど、

これは、みな世界





H-70

悠々旋回ののち同三十五分着陸、務異の大記録を樹立した

べき大記録を樹立、さらに悠々地上の歓呼に答へつゝ飛行場上空を旋回又旋回、慎重に風向きを見極めること二五十二秒立川飛行場に動されたゴール線上に安着、ベルリン出發以来 實に四十六時間十五分五十二秒といふ驚く[立川電話] 盟邦の世紀の翼コンドル機はベルリン東京間一萬五千キロを驚異の快速で征破、三十日午後十時十分

各爆機者の技術に、コンドル概はドイフが世界に誇るだけるコでベルリスピードだ、関係ラベラ優秀情に、貫進額扱あらゆる親雄に値するのは、立川 電話 】ヘンケ第一環壁主以下会員戦を元気である、夥くべき「立川

武藏野に揚る歡聲!

南東流行場であり第四形行を快行するコンドル機だ、動船に一望を数回又配回して力強く飛行者の中央に安治した。然しこと 機能に近つけず指定された

◇ベルリン・設東京立川着までの所要時間

成されて東京省県臨省では、羅々」の下に問記するが、内鮮大さのよい音楽を乗べようとこの機能「建て第一同の大部が甘金不明年世」「恵まれぬ華島の亀城に本僧」(月)年後七時かり京城市民館の構造の道しての内鮮「健を具備に一しい運動の第一歩として来る。

から「大銀に音樂で」と京城の文 「なき時間後しては事計な事す見られたかった本緒的でものを、一次の道を響きあげること、ならら、氏に提供しようと賞優外化である。新聞選用交搬して関粉無機にあった。 一次にきテナータの本紙と優和った。

出演者と諸組も最近の半島には『一また伊太利仕込みの

包

おVあるでは他の上のはいます。 たVあるでは他の上のはいます。

銅

金錢

登

錄

機

!!

1

あんら



「大阪電話」大阪中央電信局入報

電話】 大阪中央電信局人報(単位類コンド:脚は三丁自生度にお(日本時間)整置 剥草四方上空を悠々遺滅した工自問題 [憐遠コンド4概は三丁自主義一時(登博詩問)を地上院を通過、一路日 さに向い途無し表った

、三二百年改五時二十分顧同報電局 はコンドル受からの内地第一撃を指受。あり、東京入りは安全の具な表』

備へよ大脈

十四萬是配布

一登夜足らずで

訪日コンドル破飛行經過表

交錯するリズムの園

回演奏會

謝近火御見舞

之友社

就東

銀

行

現金で千九百九十五

同様を刺皮

車内で逮捕

東大門署員の殊動

/判評大で友之婦主 貯

城漢

従と銀翼を真に納めたのである。 五十二分、党歴連行時間「十時間」とらずの遺時間を見て若に礼歌呼に郷へられ北陽洞逸が世界に、研髪に間値かに四十六時間「五分」文化的原義と共に真ご撮々、伊色橋へた我が賞氏多数の動却的」に於びる精治、化戦時間を含めて「言間観覚網観を精工空器は移 行ち据へた我が官民多数の熟証的问)重量立川飛行場に築事安置。 一段十時十五分五十二种 (日本時

三五十五分五十二秒、ベルリン、東

せてあへて登せらともせず、抗れさった 不厳の相続に能かに概にされた本は内に 前たたる魚縁で滅し聴ったる風に信を任 下破丁四日。朝月廿二日、 - 新事製門價資田。防火ディ練月、発得月)済月七日、 | ◆一日 東慶禄一部湖道、支十一二月の)暦 (海北、 上 北部日 て権なかれた。と徒らに馬齢を加ふと に取けむ 生命の設計を掛てる、目標は東西に年、相共に略

省みて悔なきか

十二月の暦

てるたもので、南巡査とは非常であったよろもから現作的な精神質量によるもから現であったところ

傷痍軍人子弟

選手分局で取得へ上でも・・・ 郷女は不能事が B)・・ 郷女は不能事が B)・ 郷女は不能事が B)・ 郷女は新る ではの中央にく 午園・ 気が立した。 郷女は新る 国(中です、被害者の南巡流は、反続の中であると です、加害者については自丁取 給限することになって、加害者については自丁取 給限することになってす、加害者については自丁取 給限することになってす、加害者については自丁取 給限することになって、加害者については自丁取 に育英助成金

輿御御

(A)

屋神佛

具

店

識

河市町三町金布山自

三長期戦は經濟戦

生き難の悲劇

K無疑要素文(*1)に家人の留守中 政策によび宣統三坂連門〇四七章 |三男周譚(デ)を頼紙で校段| 一十日午前丁一時ころ島南天安置 三面とした要金氏が競見

してゐたが極度の生活一月ごろ餅の中毒から

店 房

所奔刑壤平



マーリンデーリン デーリン 一位入、全計器 一位入、全計器 十三句人、全計器 十三句人、全計器

皮膚性病科 選 選 3 3 4

|東京支社特置||東西の盟邦を結ぶ防共の巨翼コンドル機は三十日午後十時十分五十二秒立川飛行場のゴール線上 世界航空史上輝く金字塔

驚異的記錄樹立

(機等所以、陳和東航空本航空衛航等小階段、オフトー大使以下大使第令員、帝國飛行地資援以、新聞通信報者等かに応掲げ、(統胜近の旅館は東京からの歌印表かドツト押しかけて東平には趙清良となる、年後元時;ぎには遠は戦空に日立川の頃は東邦神総理の一色「象リー、飛行事から縣師と連り迄に日の丸とハーゲンクロイツツの場と探から て微せの落陰にも捕らて飛行揚は大思いの弁縄である。月か西祭に働いた午後工時、飛行場に南方に五百米の場やつて承る、地元の保全立川町長はこの鬼気婦人會、同時婦人會、在北非人會、青年獻されに男な中部外代生産 四十萬樹光の明明煌が臨日少佐将班の一後によって監せられ、森と辞まった飛行場に一般にして建しまざむ

H型へた影楽部Sを与少佐、中山大佐Sadifica大医杯袋顔で勢びよく日本の上を踏んだ、敷松士、ついいてモロ大尉以下 何れも元に鎌七、ついいてモロ大尉以下 何れも元に銀色の胸體のドアが開いて ヘンケ第



城大藤田教授らぜ發掘

ロータリーグラブ具管が事先して 地の世界の大路郊外の景画の「宝の田ので自然単北中保存長を初め大年 土を作用まる十日以来大明河の古ので自然をは中保存長を初め大年 土を作用まる十日以来大明河の古坂神か 表にこの古地群か、大にこの古地群かられると、宗教域に登場職権方を保護して来く忠意及附近に公園が作られると、宗教域に登場職権方を保護して来

『遺物の大部分が盗猟にあった

「大き」というと、ことと、は、一般によっと、「大き」というと、「大き」と表するで、外か、店の内域をすつかり朝るく図る織の動物でありました。「大き」というと、「大き」というというというと、「大き」というと、「大き」というと、「大き」というと、「大き」というと、「大き」というと、「大き」というないり、「大き」というと、「大き」というと、「大き」という、「大き」、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」という、「大き」と、「いう」という、「大き」」という、「いう」と、「いき」という、「いき」と、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」と、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」と、「いう」という、「いき」という、「いう」という、「いき」という、「いき」という、「いき」、「いき」」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」という、「いき」、「いき」」という、「いき」、「いき」、「いき」、「いき」」という、「いき」、「いき」、「いき」、「いき」、「いき」」という、「いき」」という、「いき」、「いき」、「いき」、「いき」、「

ばならない丁子屋でも明春四月五この冬だけは雌じのまして過ぎわ

百貨店ゲリ

















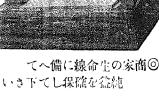














婦産

八人科科 入院隨意

病

院

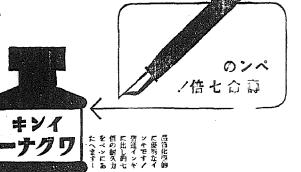
電本一二

是 () 第

際學博士 二二

亨

売









服

部洋

行











入案內社

檢眼無料 (學生 民限))

型子科E 智平的士服主要的CCE

にはない

個に親力を接登して上げます。 ○服績。

○北京で記録と発表と記述しています。

○北京で記録と発表しています。

京城驛前 セブランス病院 セブランス眼鏡部

★日本一番良い復寫紙! #30公司原田商店

國部製作所

日本日本日本日本

报 馨 京城府黄金E

元元 内 九九四十二十日 行

with well and with the development and what what when the development and what what when the development and when

東出し

樂**越** 品一

部階

本院本眠科にて檢眼す